

2019年7月10日

各 位  
プレスリリース

株式会社農業総合研究所

**JAL x 農業総合研究所 ～新千歳空港集荷場開設に関するお知らせ～**

当社は、2019年1月7日付で公表した「(開示事項の経過)日本航空株式会社との空港集荷場開設に伴う業務委託契約締結に関するお知らせ」でご案内した、日本航空株式会社(所在地:東京都品川区、代表取締役社長:赤坂祐二、以下「JAL」)との農産物流通事業において、2019年7月6日に新千歳空港(所在地:北海道千歳市平和)に、生産者が直接農産物を持ち込める集荷拠点(以下「集荷場」)を開設したことをお知らせいたします。

**1. 事業概要**

当社は、JALと共同で実施しております農産物流通事業\*1において、さらなる流通量の拡大と物流の効率化を図るため、集荷場を新千歳空港施設内に設置し、集荷場運営業務をJALに委託します。

空港内に集荷場を開設することにより、空港近郊の生産者からの農産物出荷を促し、収穫から出荷までのリードタイムをさらに短縮することが可能になります。

新千歳空港に開設した集荷場には、空港近郊のほか、北海道内で生産・収穫したトマトなどの果菜類、トウモロコシなどが集荷される予定です。農産物は集荷後、即日JAL空輸便で羽田空港を経由し、関東圏内スーパーマーケットの産直コーナーで販売されます。北海道からの農産物輸送には、通常3~4日要していますが、当社の農産物販売プラットフォーム\*2と、JALのネットワークとスピードを掛け合わせることで、新鮮な農産物等を消費者の皆様にお届けすることが可能となりました。

◀新千歳空港&gt; (※当初予定)

【取扱規模】500kg~1t 【取扱品目】トマトやトウモロコシ等の果菜類

【稼働日】毎週土曜日・火曜日 【稼働時間】6:00~6:30

**2. 今後の展開**

8月上旬に、旭川空港内に集荷場を開設する予定です。両社は、新千歳空港ならびに旭川空港での集荷場事業を皮切りに、農産物集荷においても業務拡大及び、連携強化を図ってまいります。

■新千歳空港集荷場の様子



1.新千歳空港集荷場外観



2.新千歳空港に野菜が到着



3.JALコンテナへの積み込み



4.航空機への積み込み  
(※イメージ)

\*1 参考 (①～③：両社共同リリース)

①JAL x 「世界市場」 日本産農産物の世界への輸出拡大を目指し連携

(2017年7月12日) <http://press.jal.co.jp/ja/release/201707/004349.html>

②JAL x 農業総合研究所 x 世界市場 「NIPPON ICHIBA」 を活用した農産物の輸出を開始  
～北海道 帯広から香港へ初出荷～

(2017年8月29日) <https://www.nousouken.co.jp/934>

③JAL x 農業総合研究所 熊本の新鮮な野菜を北海道へ届ける取り組み締結について

(2018年3月9日) <https://www.nousouken.co.jp/1085>

④JAL x 農業総合研究所 空港集荷場開設に伴う業務委託契約締結について

(2019年1月7日) <https://www.nousouken.co.jp/1320>

\*2 生産者が近隣の集荷場に農産物を持ち込み、各集荷場からスーパーマーケット等に納品することで、生産者とスーパー等を繋ぐ仕組み